

論文目次

第1章 研究の目的と方法	1
1-1 研究の背景と目的	3
(1) 過疎の最終局面と近代的生活様式の浸透	
(2) 過疎問題と環境管理問題の複合化	
(3) 流動的な生活様式の可能性	
(4) 研究の目的	
(5) 研究の意義	
1-2 用語の定義	6
1-3 研究の枠組みと仮説設定	8
(1) 人間と集落環境とのかかわり	
(2) 都市・地域における流動の枠組み	
(3) 人間（集団）の2つの移動の仕方	
(4) 仮説の設定	
1-4 研究の方法	16
(1) 論文の構成	
1-5 研究の位置づけ	19
(1) 農村計画における位置づけ	
(2) 既往研究のレビュー	
(3) 集落の存続と集落環境の利用管理に関わる集落計画の必要性	
第2章 集落社会による共同の維持管理の実態と簡略化の傾向	39
2-1 はじめに	41
(1) 本章の目的	
(2) 調査分析の枠組みと方法	
2-2 共同の維持管理の実態	44
(1) アンケート調査の概要	
(2) 作業を実施した集落数	
(3) 維持管理による集落類型	
(4) 維持管理の簡略化の傾向	

2-3	集落の立地環境の影響	51
	(1) 類型間の土地条件の差異	
	(2) 類型間の耕作条件の差異	
	(3) 小括	
2-4	ヒアリング調査	54
	(1) 調査の概要	
	(2) ヒアリング結果	
2-5	共同の維持管理の差異に影響を与える要因の推察	59
2-6	まとめ	60
	(1) 結果の要約	
第3章 帰省する地域外家族による私用空間の利用管理の実態		65
3-1	はじめに	67
	(1) 本章の目的	
	(2) 本章で用いる用語の定義	
	(3) 調査分析の枠組みと方法	
	(4) 対象地の概要	
3-2	農家と地域外家族の年齢分類	70
	(1) 農家の年齢分類	
	(2) 地域外家族の年齢分類	
	(3) 農家と地域外家族の関係	
3-3	農家の年齢分類ごとにみた労働力の特徴	75
	(1) 農家と地域外家族の労働力	
	(2) 地域外家族の年齢分類ごとの労働力	
	(3) 小括	
3-4	地域外家族の労働力に対する農家の評価	82
	(1) 労働力の量について	
	(2) 労働力の質について	
	(3) 小括	
3-5	地域外家族の必要性	86
	(1) 労働支援主体としての必要性	
	(2) 耕作を続ける上での必要性	

3-6	地域外家族による農作業の労働力	90
	(1)各年齢分類における労働力の特徴	
	(2)地域外家族による労働力の全体的な傾向	
3-7	まとめ	92
	(1) 結果の要約	
3-8	仮説の潜在的可能性の検証	93
	(1) これまでの成果の整理	
	(2) 仮説の潜在的可能性の検証	
第4章	転入者による生活様式の混在とその課題	97
4-1	はじめに	99
	(1)本章の対象地	
	(2)本章の目的	
	(3)分析の方法	
	(4)島民のプロフィール	
4-2	物質の循環・フローから見る生活行為	102
	(1)類型化	
	(2)生活スタイルの考察	
4-3	行動範囲から見る生活行為	104
	(1)行動パターンの分析	
4-4	満足度評価・重要度評価	107
	(1)満足度評価・重要度評価の傾向	
4-5	主成分分析と島民生活の類型化	109
	(1)満足度評価の主成分分析	
	(2)島民の満足度評価の類型化	
4-6	島民生活の総合化と生活様式の混在の状態	114
4-7	集落環境の利用管理に関する課題の明確化	117
	(1)集落環境の利用管理に関しての生活系の評価	
	(2)集落環境の利用管理に関する課題の明確化	
4-8	まとめ	119
	(1) 結果の要約	

第5章 転入者による集落活動への参加と共用空間の利用管理	121
5-1 はじめに	123
(1) 本章の目的	
(2) 対象地の概要	
(3) 調査分析の枠組みと方法	
5-2 集落活動の変化	126
(1) 集落活動の変化	
(2) 因果関係の整理	
5-3 転入者のプロフィール	130
5-4 転入者の集落活動への参加	131
(1) 対象とする集落活動の設定	
(2) 5つの集落活動のそれぞれの特徴	
(3) 参加状況の類型化	
(4) 参加状況の類型と属性	
5-5 共用空間の利用管理に与えた転入者の影響	137
(1) 転入者が集落活動に与えた影響	
(2) 共用空間の利用管理への影響	
5-6 まとめ	139
(1) 結果の要約	
5-7 仮説の潜在的可能性の検証	140
(1) これまでの成果の整理	
(2) 仮説の潜在的可能性の検証	
終章 研究の総括	145
終-1 各章の要約	147
終-2 地域づくりへの展開	151
(1) 地域づくりへの展開プログラム	
(2) 制度的な提案	
参考引用文献・図表リスト・研究業績一覧・謝辞	155